

消毒しない！

あたらしい

傷の閉鎖療法（湿潤療法）

乾かさない！

～創傷被覆材の使用法～

文責／桜十字病院 外科 吉村芳弘

◎ 湿潤療法とは？

当院では、すり傷・切り傷を、消毒しないで、さらに、乾かさないように覆うことで治癒を促す「湿潤療法」を行っています。この新しい治療法は、これまでの「消毒をしてガーゼをあてる」方法に比べて、**痛みが少なく、傷跡が残りにくい、傷にやさしい方法**です。

◎ 創傷被覆材について

「湿潤療法」では、傷を覆う際に「創傷被覆材」を使います。創傷被覆材は傷から出てくる過剰な液を吸収し、**創面に固着しません**。使用法は簡単なので、ご家庭で取り替えることができます。

創傷被覆材の使い方



傷の大きさ・形に合わせて、ハサミで切ります。

◀ 創傷被覆材
「デュオアクティブET」



水道水などで傷をきれいにします。
消毒剤は傷を痛めるので使わないで下さい！



乾かした傷の上に被覆材を直接貼ります。



しばらくすると傷から出てくる液を吸収して、被覆材が白くふやけてきます。この液は、傷を治そうとして出てくる液で、傷が化膿したわけではありません。

創傷被覆材を交換するタイミング

白くふやけてきても、すぐに貼り替える必要はありません。しかし、白くふやけたところが広がって端から漏れてきたら、はがして水・お湯などで傷をきれいにし、新しいものを貼って下さい。ふやけたところが傷にくっつくことはありません。

- ◆ 治癒とともに、傷から出てくる液は少なくなります。
- ◆ 端から漏れてこなくても2～3日したら、とり替えて皮膚を洗って清潔にしましょう。
- ◆ 貼ったまま入浴・洗髪が可能です。または、はがして入浴し、その後に新しいものに替えても結構です。
- ◆ 傷から出る液がほとんど無くなり、被覆材が白くふやけなくなったら治療は終了です。はがしてきれいに洗って下さい。
- ◆ 傷が治るまで通常1～2週間くらいかかります。



白くふやけるのは、**治っている過程！**。「湿潤療法」の大きな特徴です！

湿潤療法の普及に伴い、市販品も一般のドラッグストアなどで販売されています。

(写真左から)

「キズパワーパッド」(ジョンソンアンドジョンソン)

「クイックパッド」(デルガード)

「カットバンモイスト」(祐徳薬品)

「プラスモイスト」(瑞光メディカル)※

※プラスモイストは一般のドラッグストアでは販売していません。

詳細は診察時にご相談ください。



- ・2歳以下のお子さんは、皮膚がかぶれることがあるので注意して下さい。
- ・傷の周囲が赤くなる・腫れるなど、感染・化膿が疑われる場合はご相談下さい。
- ・傷が治ったところは日焼けしやすいので、当分の間(特に夏場は数カ月間)、太陽の光に直接当てないようにして下さい。